



平成 23 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号: 4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木下 憲明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

株式会社トランスジェニックとの包括的業務提携に関するお知らせ

当社と株式会社トランスジェニック(以下、トランスジェニック社)(代表取締役社長: 福永健司、熊本県熊本市)は、平成 23 年 3 月 11 日開催の取締役会において、両社の持つ経営資源および技術を相互に活用することによる事業基盤の強化と将来に向けた持続的な事業発展を目的として、包括的な業務提携を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 包括的業務提携の目的

当社は 1982 年に設立し、医薬品及び医薬部外品の免疫学的研究、開発、製造及び販売を目的としており、一貫して「抗体」の開発を中心とした研究に取り組み、成果を事業化しております。免疫学の研究を通じて、がんや自己免疫疾患等の難病を克服し、社会に貢献することを目指しております。

一方、トランスジェニック社は 1998 年に設立され、熊本大学発バイオベンチャーとして、遺伝子破壊マウス等による創薬支援を目的としており、独自のトラップマウス技術を基軸とした遺伝子破壊マウス事業を展開すると共に、GANP®マウス技術を用いて、診断薬に繋がる腫瘍マーカーの研究に取り組んでいます。疾患の病因・病態解析に有用な遺伝子情報などのツールを提供することで、社会に貢献することを目指しております。

両社は、このたびの本業務提携により、基幹技術の相互補完、開発シーズの情報共有、相互の国内外販売網の共有等により、相乗効果を発揮し、一層の発展を遂げることが期待できると考えております。

2. 包括的業務提携の内容

当社が有する抗体作製技術や抗体シーズ情報と、トランスジェニック社が有する GANP®マウス技術や遺伝子破壊マウス技術を融合させ、有用な研究用試薬としての抗体開発を行います。また、相互に両社の国内外販売網を共有することにより、売上拡大を図ります。

なお同日において、当社とトランスジェニック社は、当社がトランスジェニック社の GANP®マウス技術を使用し、研究用試薬としての自社抗体製品の製造・販売を目的とした非独占ライセンス契約を締結し、本マウスの使用権許諾を受けましたので併せてお知らせいたします。

3. 業務提携の相手先の概要

名称	株式会社トランスジェニック		
所在地	熊本市南熊本3丁目14番3号		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 福永 健司		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子情報の使用権許諾、遺伝子破壊マウス作製受託 ・ 抗体製品販売、抗体作製受託、GANP®マウスのライセンスアウト、診断薬に向けた腫瘍マーカーの開発 ・ 研究用試薬の仕入・販売 		
資本金	5,398百万円（平成23年3月11日現在）		
設立年月日	1998年（平成10年）4月21日		
発行済株式数	129,256株（平成23年3月11日現在）		
決算期	3月31日		
従業員数	29名（平成23年3月11日現在）		
主要取引先	アステラス製薬(株)、武田薬品工業（株）		
主要取引銀行	商工中金熊本支店 三菱東京UFJ銀行熊本支店		
大株主及び持株比率 （平成22年9月30日現在）	大和証券 1,512株（1.38%） 日本生命保険相互会社 1,350株（1.23%）		
当事会社間の関係			
資本関係	当社は当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
最近3年間の経営成績及び財政状態（連結）			
決算期	平成22年3月期	平成21年3月期	平成20年3月期
純資産	1,531百万円	2,114百万円	2,730百万円
総資産	1,804百万円	2,234百万円	2,899百万円
1株当たり純資産(円)	13,909円	19,211円	25,014円
売上高	603百万円	324百万円	332百万円
営業損失	385百万円	624百万円	644百万円
経常損失	389百万円	605百万円	659百万円
当期純損失	579百万円	634百万円	884百万円
1株当たり当期純損失(円)	5,309円	5,821円	8,109円
1株当たり配当金(円)	—	—	—

4. 日程

平成23年3月11日 当社取締役会決議
平成23年3月11日 業務提携契約締結
平成23年3月下旬 個別業務に係わる契約締結及び新事業開始（予定）

5. 今後の見通し

現在、新事業の開始に向け業務プロセスの整備に取り組んでおりますが、本業務提携の業績への影響につきましては、事業開始後の進捗状況に応じて適宜お知らせいたします。

ご参考

- ・トランスジェニック社のGANP®マウス技術について

GANP（Germinal Center Associated Nuclear Protein）とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、このGANP遺伝子を過剰に発現させたGANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

以上